

1月22日 北中を代表して 風組と1年C組が授業公開

この日は教員の研修会のために、市内の小中学校は午前授業でした。その研修のために授業を提供する学級があるわけで、瑞浪北中学校では風組が書写の授業を、1年C組が数学の授業を公開しました。

それらの授業から学ぼうと、市内の多くの教員が瑞浪北中学校に集まりました。学校代表として、風組と1年C組が頑張っすばらしい授業を公開しました。

風組では、書写の行書の授業を公開しました。生徒二人に30名近くの参観者が風組の教室に入り、初めは緊張していましたが、徐々に慣れ、筆もすいすい運ぶようになりました。

筆で書くには難しい字もありましたが、何度も練習して行書の特長がよくわかる作品に仕上げました。参観者からは、手本を細かく丁寧に見て、粘り強く取り組む姿がすばらしいと高い評価をいただきました。



1年C組では「円すいの展開図はどうなるか？」の問いに対して、班の仲間と共に追究しました。

実際に紙を切って考えました。そこからさらに「なぜこのような形になるのだろうか？」と立体とのつながりに着目しながら追究する姿がありました。

根拠にこだわり、粘り強く追究する姿が素晴らしい

と多くの参観者の感動を集めました。それ以外にも、伝えるための話し方、分かるための聞き方、考えをつくりだす話し合い方など、実際の子どもの姿から、素晴らしい学習集団に育っているとほめていただきました。

